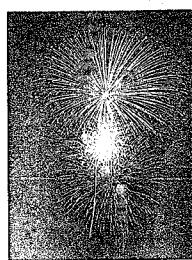


市民からのお手紙



八月に行われた阿賀野川大花火大会について、市民の方からのお手紙をいただきましたので、ご紹ひします。

時代は移り変わり、その阿賀野川の夜空に、三尺玉の大花火が一晩に六発も上がるとは誰もが想像していなかつた。新津市上つていくのがよく見られた。帆掛け舟は中止され、阿賀野川では白い帆を掛けた、帆掛け舟が上流へと上つていった。

その昔、阿賀野川では白い帆を掛けた、帆掛け舟が上流へと上ついくのがよく見られた。帆掛け舟は中止されると、一度帆柱をかかる。

時代は移り変わり、その阿賀野川の夜空に、三尺玉の大花火が一晩に六発も上がるとは誰もが想像していなかつた。新津市上つていくのがよく見られた。帆掛け舟は中止されると、一度帆柱をかかる。

阿賀野川大花火大会に思う

や五泉市の人々、それに川向こうの人々も一緒に驚き、感心していました。

花火の打ち上げ当夜、新津市の堤防には数万人の人々で埋まり、川向こうの堤防には数百台の車の列ができて、その赤い